

# 盛岡組 同朋講座

2019年3月4日(月)

会場：専立寺（盛岡市）



# 仏教の平等観と 差別問題

南米開教前監督・同朋大学名誉教授

お ばた ぶん しょう  
尾畑 文正 師

「あなたたちは、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と念仏を申しあげておられますけれども、その念仏は私のようなものを排除し差別する念仏になっているのではないですか」 ハンセン病回復者 伊奈 教勝（藤井 善）

浄土真宗の教えの中では南無阿弥陀仏と念仏申すということは、仏そのものの名のりとしての念仏をいただくことです。私に〈はたらく〉その念仏が私の閉鎖的な生き方を問い、他者と共に生きる世界を開くこととなります。

しかし、その念仏が私を問うこともなく、むしろ閉鎖的な差別的な私を正当化させて、他者と共に生きる世界を開く念仏ではなくて、世界を閉ざし、他者を切り捨てていくような念仏になってはいないかというのが藤井善さんの問題提起です。念仏申すということは都合の悪い他者を切り捨てていくような自分自身を問う、批判原理に身をさらすということです。

尾畑文正「社会に関わる仏教—この現実のただ中で」

主催：盛岡組教化委員会

# 開催要項

開催日	2019年3月4日(月)
会場	盛岡組・専立寺
申し込み	当日会場に直接お越し下さい
参加費	盛岡組内の方無料 その他500円
持ち物	筆記用具・真宗聖典(お持ちの方)

## 日程

10:00	開会行事
10:05	講座開始
12:00	午前講座終了 (昼食休憩) ※下欄参照
12:50	午後講座開始
14:30	質疑応答
14:45	閉会行事

## 講師：尾畑文正師

1947年、三重県四日市市生まれ。同朋大学仏教学科卒。大谷専修学院終了。大谷大学大学院博士課程満期退学。文学博士。真宗学専攻。同朋大学元学長。南米開教前監督。現在同朋大学名誉教授。真宗大谷派三重教区泉称寺前任職。

著書に『社会に関わる仏教—この現実のただ中で』『親鸞を生きるということ』『親鸞への旅』『歎異抄に学ぶ』『真宗仏教と現代社会』『親鸞聖人の手紙から』など。論文は『浄土論註』に関するもの、「現代と仏教」に関するもの、特に「非戦平和」に関するもの、「民族宗教と真宗」に関するものが多数ある。



駐車場は会場寺院の駐車場ほか、近隣の大谷派寺院駐車場も利用可能ですが、数に限りがございますので乗り合わせての参集をお願いします。



尾畑文正師著 最新刊  
「歎異抄に学ぶ」  
「世のいのりにこころいれて」  
当日の資料ではございませんが、ご興味のある方はご一読ください。今話題のスマホやタブレットで読む電子書籍です。

※昼食は、主催者がまとめて仕出し業者に発注します。

当日の受付時に代金700円（PETボトル茶含む）を預かります。希望者は当日受付でお申し込みください。

## 連絡先

- 組長 亀山助正(浄圓寺) ☎080-1829-6943 j-kameyama@eos.ocn.ne.jp
- 副組長 丸田善融(宗通寺) ☎080-6016-9120 sotsuji@seiryu.info